



-Standard/ServerEdition-

ユーザーマニュアル

FinePrint 及び **pdfFactory** は米 **FinePrint Software** 社の製品名です。

株式会社 **NSD** は日本総代理店です。

その他、記載されている会社名、ブランド名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本マニュアル内での表記について

Windows のバージョンによりメニュー項目の表示名称がことなります。

- ・ 「**SE** のみ」と記載がある項目は、**FinePrint ServerEdition** でのみ使用可能な機能です。
- ・ 「**Windows (OS)** の項目」⇒「**Windows 7** での名称 (**Windows XP** での名称)」を記載しています。

例：デバイスとプリンター (プリンタと **FAX**)

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 目次 | 1 |
| 第 1 章 はじめに | 2 |
| 第 2 章 使用方法 | 5 |
| 第 3 章 セットアップタブ | 6 |
| 第 4 章 メトリックスタブ | 8 |
| 第 5 章 画像設定タブ | 10 |
| 第 6 章 プレビュータブ | 11 |
| 第 7 章 設定 | 14 |
| 第 8 章 カスタム表示 | 20 |
| 第 9 章 プレビューダイアログ | 22 |
| 第 10 章 レイアウトミニタブ | 27 |
| 第 11 章 ジョブミニタブ | 31 |
| 第 12 章 フォーム機能 | 33 |
| 第 13 章 ステーショナリ機能 | 35 |
| 第 14 章 サーバーエディション | 38 |
| 第 15 章 ライセンスタブ (SE のみ) | 41 |
| 第 16 章 ライセンスコード登録 (SE のみ) | 46 |
| 第 17 章 その他の情報 | 47 |

第1章 はじめに

<機能概要>

FinePrint を使用することにより、現在ご使用中のプリンタで下記付加機能を実現できます。

各機能の詳細については、各説明の最後に記載してありますページを参照してください。

| 主な機能 | 説明 |
|----------|--|
| まとめ印刷 | 複数のドキュメント、異なるアプリケーションからの印刷ジョブを蓄積し、一度にまとめて印刷をすることができます。 |
| プレビュー表示 | 印刷の度にプレビュー表示をして細かい部分まで確認する事ができます。 また、プレビュー表示をしないように設定することもできます。(24 ページ) |
| ページ編集 | プレビュー表示上で不要なページ削除、まとめ印刷機能で蓄積した複数の印刷ジョブから任意のジョブを削除することができます。また、削除したページ・ジョブを削除前の状態に戻すこともできます。(24,25 ページ) |
| 文字の加工 | ドキュメント内の文字に対して、ハイライトを付けたり、文字をコピー、削除することができます。(24 ページ) |
| ページの移動 | ページの入れ替えができます。(25,26 ページ) |
| 縮小印刷 | 複数ページを縮小して、1 紙面に 2,4,8 ページを割り付けて印刷することができます。(28 ページ) |
| 小冊子印刷 | 製本用の両面 2 分割の小冊子形式で印刷することができます。(28 ページ) |
| 両面印刷 | 両面印刷機能のないプリンタでも簡単に手動で両面印刷がすることができます。(30 ページ) |
| モノクロ印刷 | ドキュメントをすべてモノクロ印刷することができます。(29 ページ) |
| 画像を印刷しない | ドキュメント内に使用されている画像を印刷しないようにして、インク・トナーを節約することができます。(29 ページ) |
| 綴じ代 | 綴じ代の位置 (上/下/左/右/短辺/長辺)、幅の指定をすることができます。(29 ページ) |
| フォーム | フォーム (文字や画像) を作成し、アプリケーションから出力したドキュメントにフォームを重ねて印刷することができます。(33 ページ) |
| ステーションナリ | ヘッダー/フッター/背景文字 (透かし文字) を印刷ドキュメントに付加することができます。(35 ページ) |
| ジョブ保存 | プレビュー表示で確認した状態のを保存することができます。保存したジョブを後で印刷、また他の FinePrint ユーザーへ提供することができます。(23 ページ) |

| | |
|-----------------|---|
| ファイル形式変換 | 印刷ドキュメントをイメージデータ (BMP/EMF/GIF/JPG/PNG/TIF)、テキストデータ (TXT) へ変換し、ファイルへ出力またはクリップボード (TXT/BMP/EMF) へコピーすることができます。(23 ページ) |
| ジョブ一覧表示 | FinePrint に印刷し、蓄積された印刷ジョブの一覧を表示できます。蓄積された印刷ジョブの一覧に対して、順序の変更、名称の変更、削除の操作をすることができます。(31 ページ) |
| ヒストリー保存 | FinePrint から印刷したジョブは自動的に AutoSave フォルダに保存されるので、再度開いて参照、印刷することができます。(18 ページ) |
| カスタム表示 | プレビュー画面に表示する設定項目の表示、非表示を設定し、カスタマイズすることができます。(21 ページ) |
| 機能制限 (SE のみ) | サーバーからクライアントが使用する FinePrint に対して、機能制限を一括して行うことが可能です。(39 ページ) |
| ライセンス管理 (SE のみ) | FinePrint を使用しているユーザーの管理をすることができます。各クライアントの印刷枚数、削減率を確認することもできます。(42 ページ) |

<動作環境>

サーバー : **Windows Server 2003/Server 2008** (SE のみ)

クライアント : **Windows XP/Vista/7**

※ **32bit/64bit-OS** に対応しています。

※ インテル **Itanium** プロセッサには対応していません。

<インストール>

インストーラ (**exe** ファイル) を実行するとインストールすることができます。

インストールが完了すると「**FinePrint**」という(仮想的な)プリンタが作成され、お使いのアプリケーションから「**FinePrint**」プリンタへ印刷するだけで **FinePrint** の機能を使用することができます。

※ インストール時は、**Administrator** 権限で行ってください。

※ アンチウイルスソフト等の常駐プログラムはすべて停止してください。

<アンインストール>

アンインストール（削除）するときは、以下の方法で行ってください。

1. [コントロールパネル] → [プログラムと機能（プログラムの追加と削除）] より「**FinePrint**」を削除（アンインストール）します。
2. [ドキュメント（マイドキュメント）] → [**FinePrint files**] を削除します。
3. コンピュータを再起動します。

<ライセンスコード登録>

試用版をインストールされた場合は、「ライセンスコード登録」を行うことで製品版としてお使いいただけます。

- **FinePrint**（通常版）

ライセンスコード登録は、[スタート]→[デバイスとプリンター(プリンタと FAX)]→[**FinePrint**] を右クリック→[印刷設定] → [バージョン情報] タブにて、[ユーザー名]、[ライセンスコード] を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

- **FinePrint**（サーバーエディション）

ライセンスタブにてライセンスコードを登録することで製品版としてお使いいただけます。
詳細につきましては、「第 16 章 ライセンスコード登録（SE のみ）」をご参照ください。

<試用版制限>

FinePrint 試用版にて印刷されたドキュメントには、下端に「多機能印刷 **FinePrint6** 試用版 <http://www.nsd.co.jp/share/pdffact>」と試用版が使用されたことを示す文章が記述されます。

ライセンスコードを登録することによって、本文章が記述されなくなります。

※ 試用版／製品版の機能の違いはございません。

第2章 使用方法

FinePrint はプリンタドライバとして動作します。

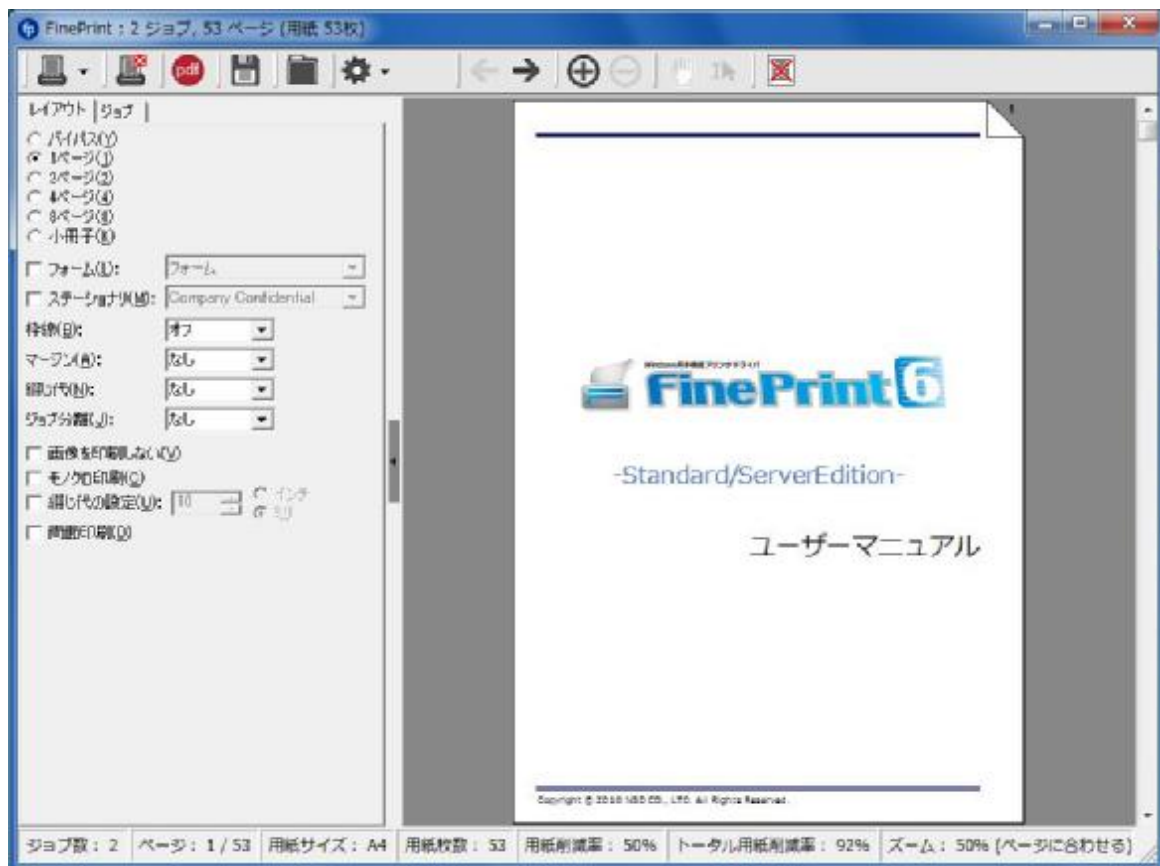
FinePrint の機能を使用するためには、お使いのアプリケーションの印刷メニューから印刷先プリンタに **FinePrint** を選択し、印刷をします。

印刷を行うと **FinePrint** のダイアログ（操作画面）が表示されます。

ダイアログの各項目については、次章以降をご覧ください。

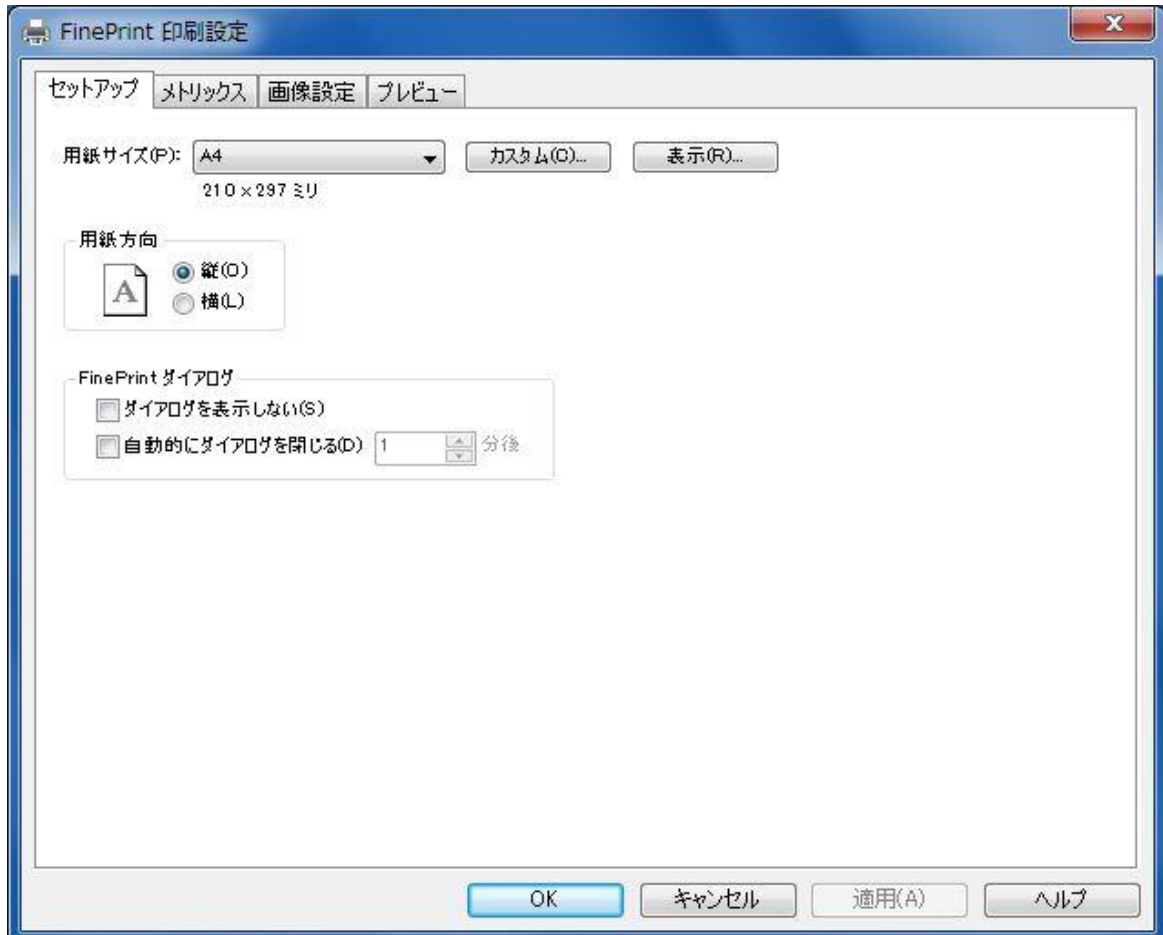
注意事項：

FinePrint のダイアログが他のアプリケーションのウィンドウの背後に隠れてしまった場合、タスクバーの「**FinePrint**」をクリックしてください



第3章 セットアップタブ

セットアップタブでは、**FinePrint** を使用する際の基本的な設定を行います。



<用紙サイズ>

印刷対象のサイズを指定します。

- カスタム

ユーザーが任意の用紙サイズを定義できます。

作成した用紙サイズの削除方法：

1. 上記画面で削除したい [用紙サイズ] を選択し、[カスタム] をクリックします。
2. [削除] をクリックします。

- 表示

用紙サイズ一覧に表示する用紙サイズを指定します。

<用紙方向>

印刷対象の用紙の向き（縦／横）を指定することができます。

<ダイアログを表示しない>

FinePrint のダイアログを表示しないようにします（プレビュー非表示）。

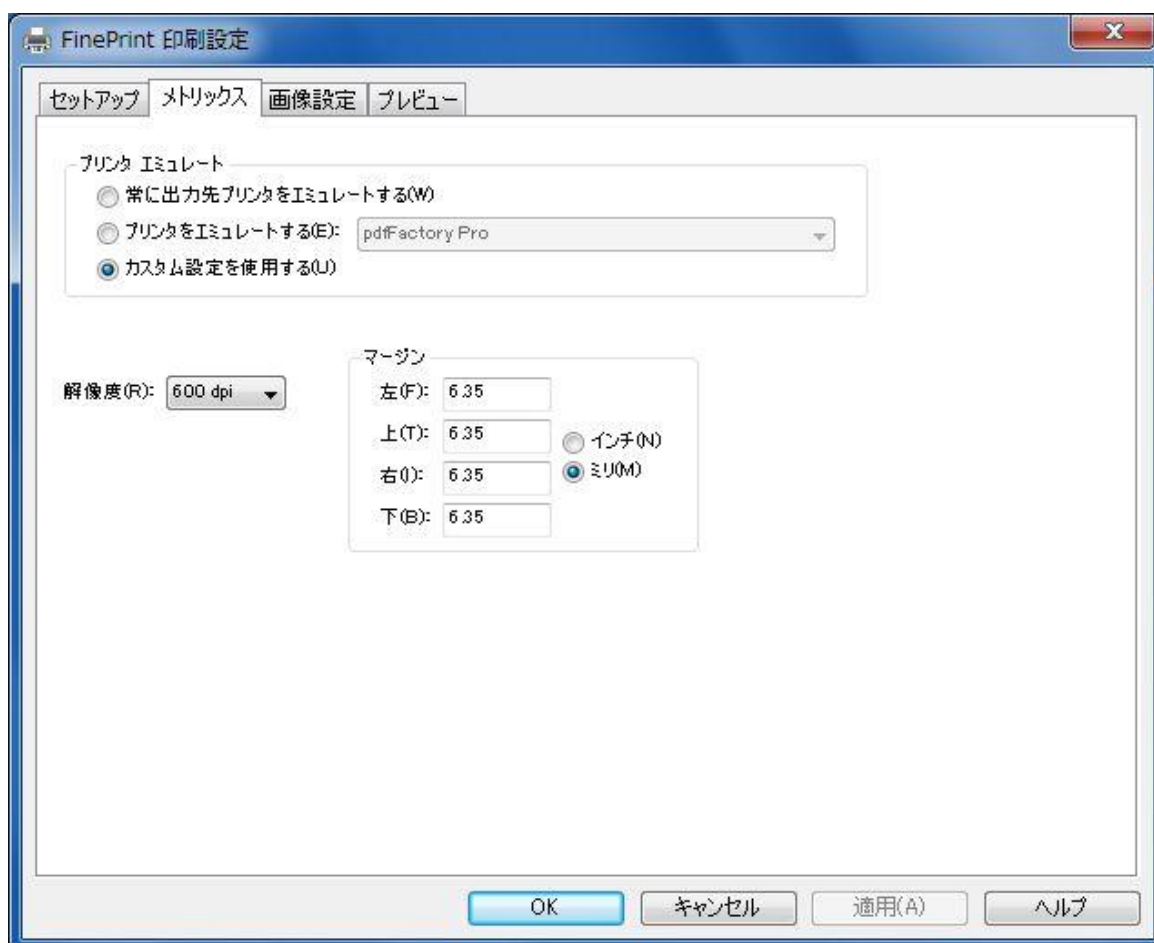
<自動的にダイアログを閉じる>

FinePrint のダイアログを指定した時間が経過後に自動的に閉じるようにします。

ダイアログが閉じるまでは通常通り操作ができます。

第4章 メトリックスタブ

メトリックスタブでは、解像度およびマージン（余白）の設定を行います。



<常に出力先プリンタをエミュレートする>

プレビュータブにて出力先プリンタとして設定しているプリンタの用紙サイズや解像度を常にエミュレートします。

<プリンタをエミュレートする>

指定したプリンタの用紙サイズや解像度をエミュレートします。

<カスタム設定を使用する>

任意で設定した解像度やマージンを使用して、印刷します。

- 解像度

FinePrint プリンタの解像度を指定します。

- マージン

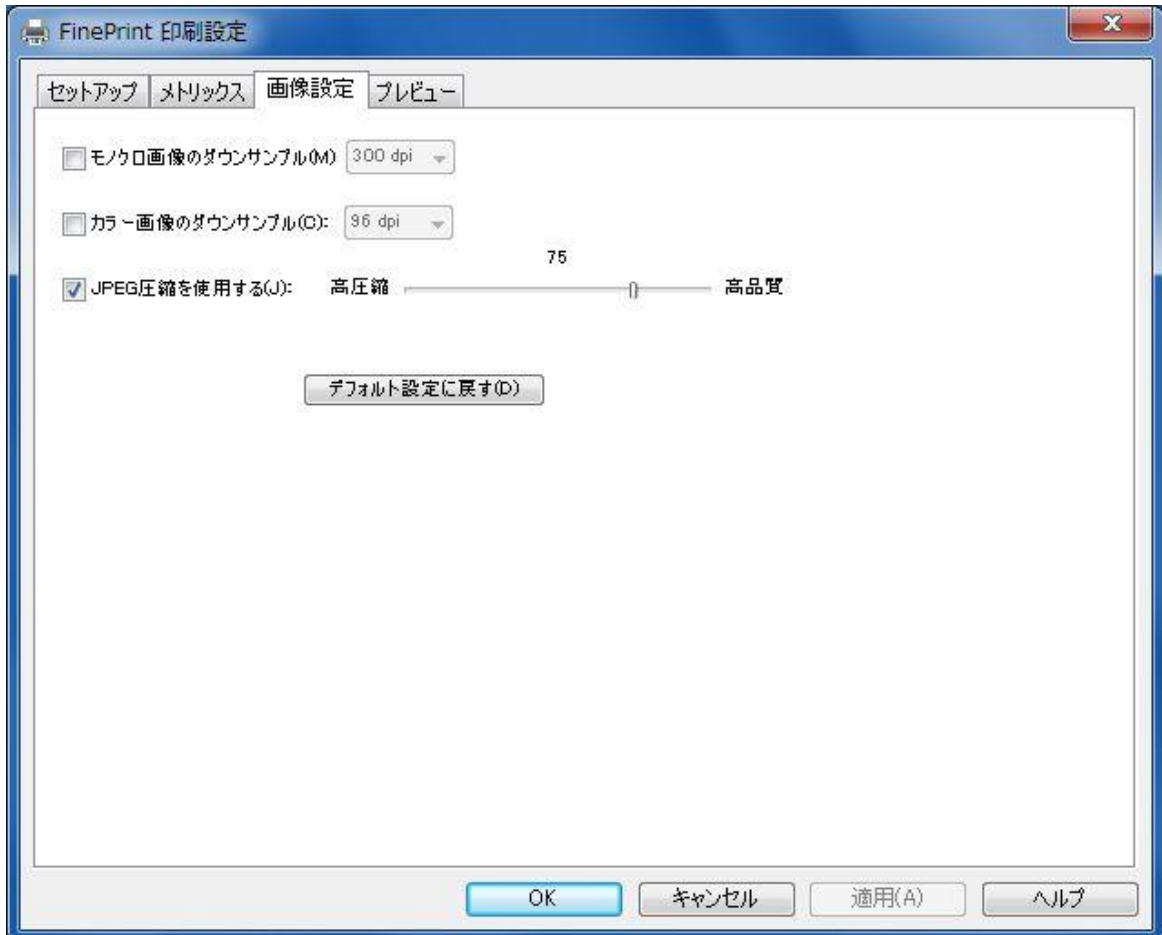
用紙の端からの余白部分（印刷不可領域）のサイズを指定します。

注意事項：

マージンのサイズが大きい場合、プレビューが白紙状態のように表示されてしまう現象が発生します。これは用紙の端からの余白が大きいので、実際に印刷される範囲にまで余白が適用されてしまうことにより発生します。

第5章 画像設定タブ

画像設定タブでは、ドキュメント内の画像についての設定を行います。



以下の設定をおこなうとインクやトナーを節約することができます。

<モノクロ画像のダウンサンプル>

印刷対象に含まれているモノクロ画像データの解像度を落として **PDF** 変換することができます。

<カラー画像のダウンサンプル>

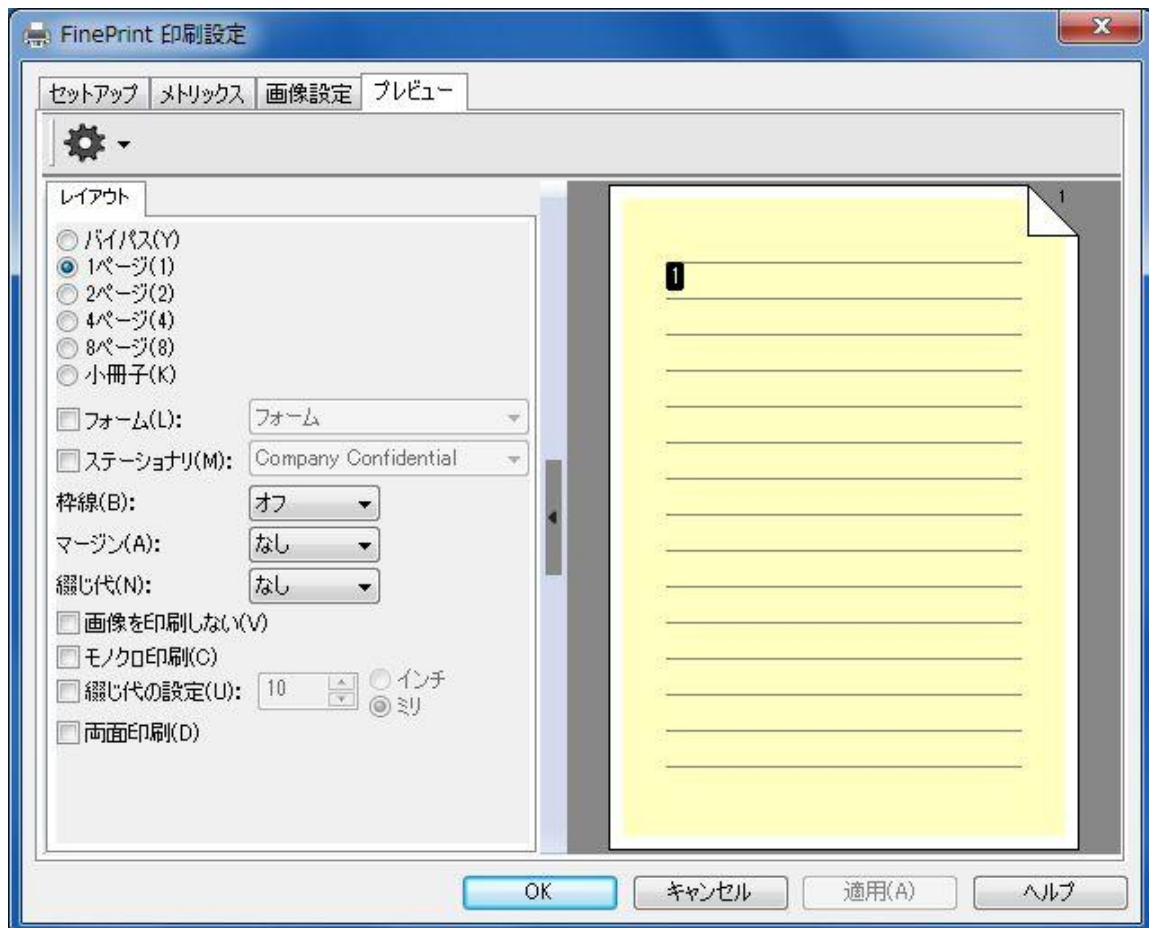
印刷対象に含まれているカラー画像データの解像度を落として **PDF** 変換することができます。

<JPEG 圧縮を使用する>

画像データを圧縮して **PDF** 変換することができます。

第6章 プレビュータブ

ドキュメントを **FinePrint** に出カした際に適用するレイアウトや保存先フォルダの基本設定をします。プレビュータブでの設定は、印刷時に表示される印刷画面でも変更することができます。



<レイアウトミニタブ>

分割設定、枠線や綴じ代の付加等、印刷レイアウトに関する設定をします。

(詳細は「第 10 章 レイアウトミニタブ」(27 ページ)を参照してください。)

< ⚙️ 設定 >

各種機能設定をします。

- フォーム

フォーム登録設定画面が表示されます。

(詳細は「第 12 章 フォーム機能」を参照してください。)

- ステーションナリ

ステーションナリ登録設定画面が表示されます。

(詳細は「第 13 章 ステーションナリ機能」を参照してください。)

- 新規 **FinePrint** プリンタ作成

現在の設定に基づいて新たにプリンター一覧に **FinePrint** プリンタを追加します。

複数の **FinePrint** プリンタを作成することで異なる設定の **FinePrint** プリンタを使い分けることができます。

- 設定

機能の表示、印刷、保存の設定をします。

(詳細は「第 7 章 設定」を参照してください。)

- ヘルプ

ヘルプを表示します。

- バージョン情報

FinePrint のバージョン、ユーザー名、ライセンスコード、用紙削減率を表示します。

以下の画面はライセンスコード登録後の表示です。

登録前（試用版）の場合は、[ユーザー名]、[ライセンスコード]入力欄が表示されます。



- web site

FinePrint の紹介ページを表示します。

- **technical support**

お問い合わせ先を表示します。

- **help**

ヘルプを表示します。

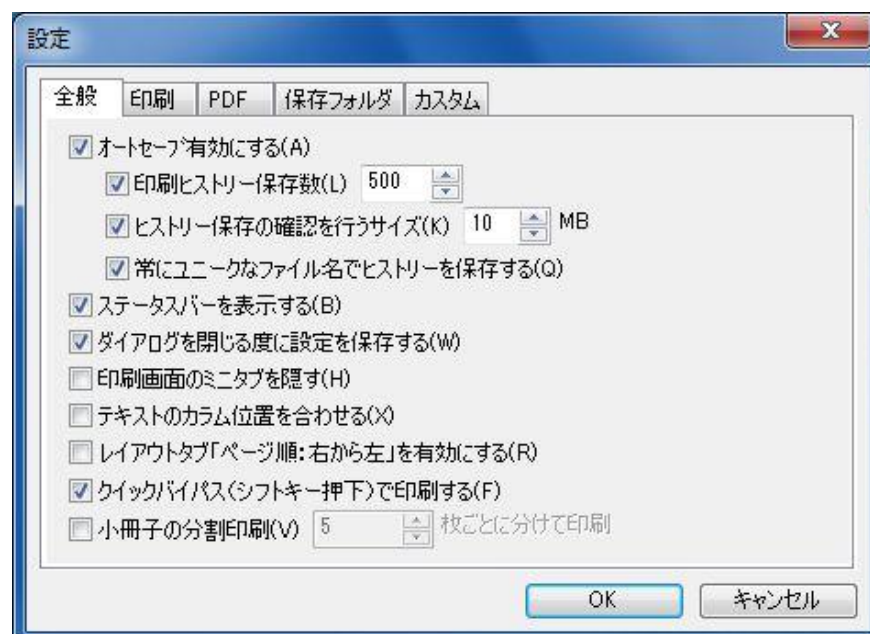
※英語表記です。

- **リセット**

用紙削減率をリセットします。

第7章 設定

プレビュータブまたは、印刷画面より設定ができます。



<全般タブ>

- オートセーブ有効にする

有効にすると以下の履歴保存数等の設定で自動的に世代保存されます。

- 印刷履歴保存数

履歴機能で保存するセッション（ファイル数）の最大値を指定します。

この数値以上になった場合、古いものから順に上書きされます。

- 履歴保存の確認を行うサイズ

履歴機能で自動的にセッションを保存する際に、保存するサイズがここで指定した以上のサイズである場合、保存するかの確認をします。

- 常にユニークなファイル名で履歴を保存する

同じ名称のファイルを印刷した場合、通常は履歴が上書きされてしまいますが、この設定を使用するとファイル名の後ろに投資番号が付与されて上書き保存されません。

- ステータスバーを表示する

プレビュー画面下部のステータス（ページ／用紙サイズ／用紙枚数／用紙削減率／トータル用紙削減率／ズーム率）表示バーの表示／非表示を設定します。

- ダイアログを閉じる毎に設定を保存する

FinePrint のダイアログを閉じる毎に、現在の **FinePrint** の設定情報を保存します。

- 印刷の画面のミニタブを隠す

ドキュメントのプレビュー部分（画面右側）にマウスカーソルがあると、レイアウトミニタブの部分（画面左側）が隠れます。

レイアウトミニタブの部分（画面左側）にマウスカーソルがあると、レイアウトミニタブの部分が現れます。

テキストのカラム位置を合わせる

固定幅フォントを使用してテキストを印刷する場合で、文字の出力位置が水平方向にずれてしまう場合、この設定を使用することで出力位置が調整されます。

- レイアウトタブ「ページ順：右から左」を有効にする

レイアウトミニタブに「ページ順：右から左」の設定項目を追加します。

- クイックバイパス（シフトキー押下）で印刷する

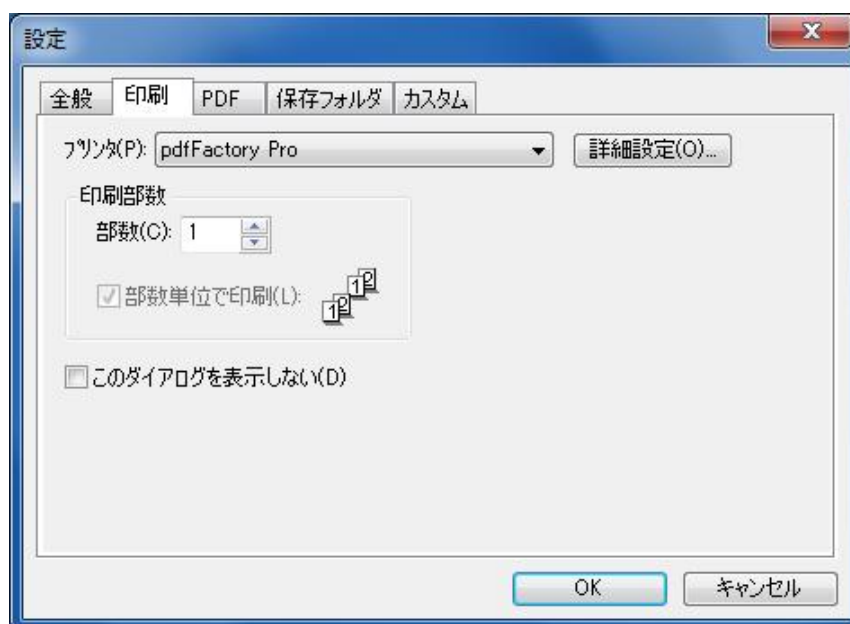
FinePrint に印刷をする時に、「**Shift**」キーを押下することで **FinePrint** ダイアログを表示せずに印刷をします。

- 小冊子の分割印刷

印刷枚数の多い場合は、サブ小冊子として分割数を指定して小冊子を印刷します。

<印刷タブ>

FinePrint から出力する際の物理プリンタの設定ができます。



- プリンタ

出力先プリンタを選択します。

- 印刷部数

印刷枚数を設定します。

- このダイアログを表示しない

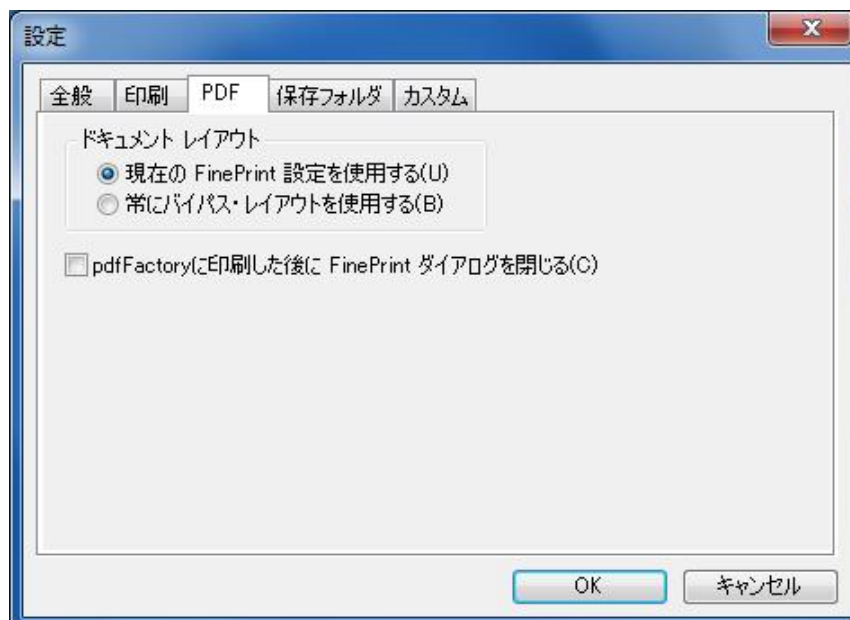
印刷をする際に「印刷」ダイアログを表示しないようにします。

※「印刷設定」から上記の設定をした場合、以後はその値が初期値として設定されます。

<PDF タブ>

FinePrint から **pdfFactory** に印刷をおこなう場合の設定ができます。

(**pdfFactory** がインストールされている場合に表示されます。)



- ドキュメント レイアウト

FinePrint の機能を付加の有無を設定できます。

- 現在の **FinePrint** 設定を使用する

FinePrint で設定したレイアウトを使用して **PDF** 印刷ができます。

- 常にバイパス・レイアウトを使用する

FinePrint で設定したレイアウトを使用しないで **PDF** 印刷ができます。

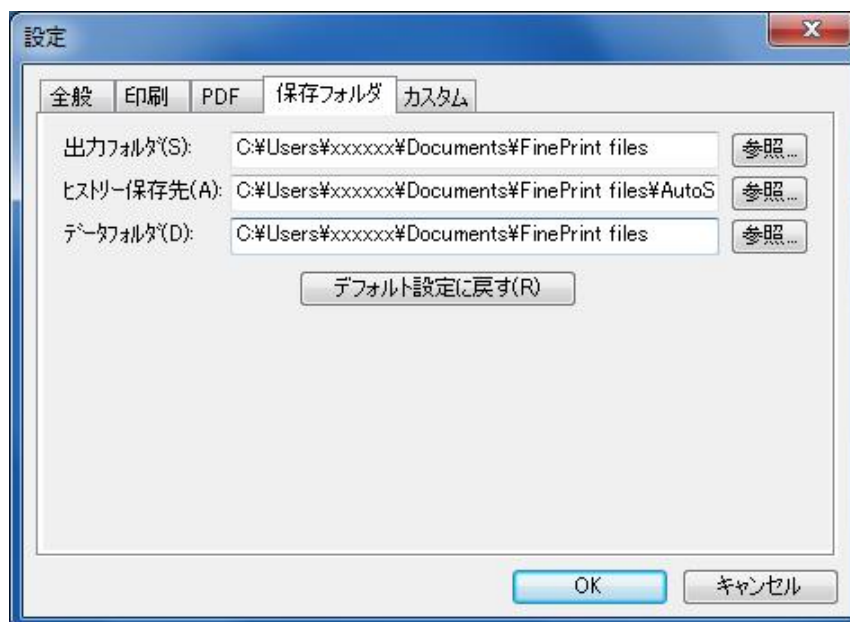
- **pdfFactory** に印刷した後に **FinePrint** ダイアログを閉じる。

FinePrint より **pdfFactory** へ印刷した後に **FinePrint** 印刷画面を自動で閉じることができます。

<保存フォルダタブ>

ヒストリー機能での保存先、ジョブ保存する場合の保存先を指定します。

(初回使用時に [ドキュメント (マイドキュメント)] → [FinePrint files] フォルダが作成されます。)



- 出力フォルダ

FinePrint のジョブファイルが保存されるデフォルトの保存先フォルダを指定します。

- ヒストリー保存先

FinePrint で印刷したジョブが自動的に保存されます。

※ヒストリー保存機能を無効にしている場合は、保存されません。

- データフォルダ

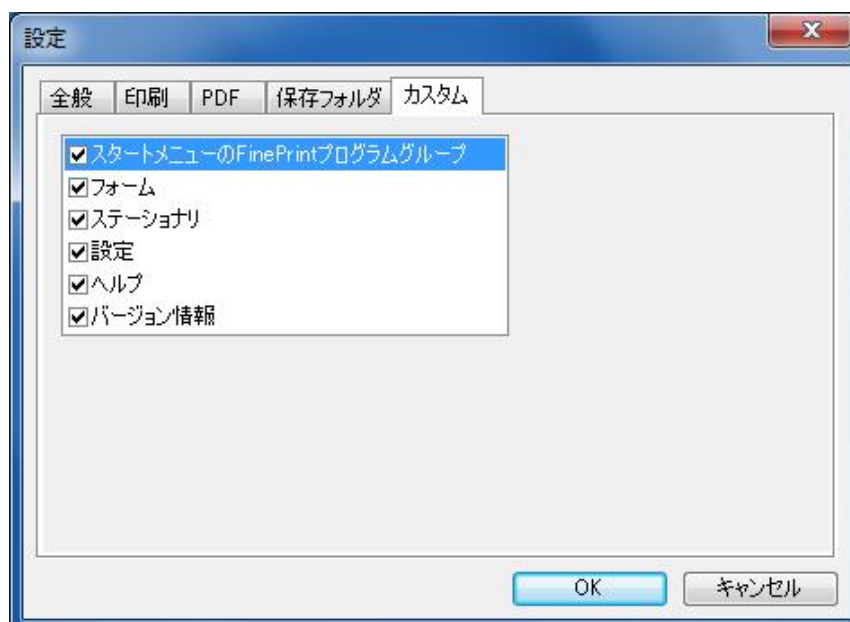
フォームファイルやステーションリの設定情報が保存されます。

- デフォルト設定に戻す

保存先フォルダの設定を初期設定に戻します。

<カスタムタブ>

各項目の表示/非表示が設定できます。



- スタートメニューの **FinePrint** プログラムグループ

Windows のスタートメニューに **FinePrint** フォルダの表示/非表示を設定します。

- フォーム

FinePrint 印刷画面内のフォームの表示/非表示を設定します。

- ステーションナリ

FinePrint 印刷画面内のステーションナリの表示/非表示を設定します。

- 設定

FinePrint 印刷画面内の設定の表示/非表示を設定します。

- ヘルプ

FinePrint 印刷画面内のヘルプの表示/非表示を設定します。

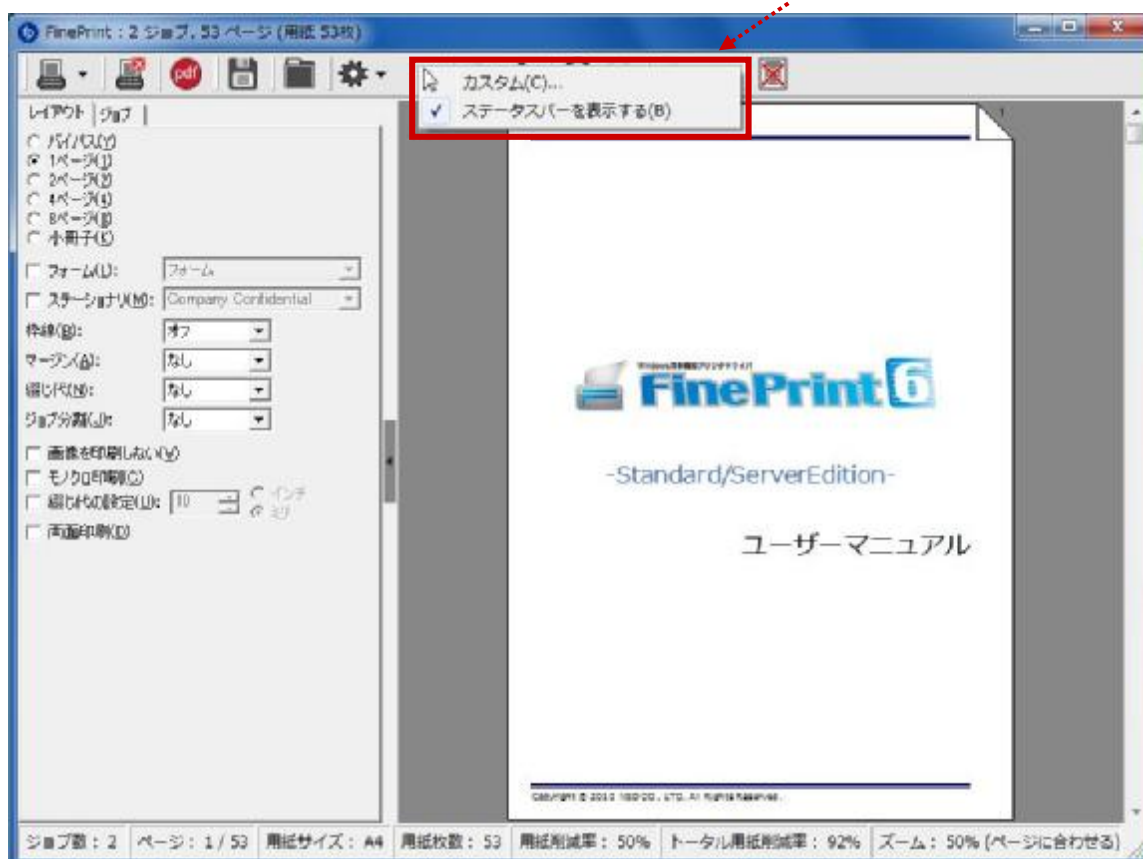
- バージョン情報

FinePrint 印刷画面内のバージョン情報の表示/非表示を設定します。

第8章 カスタム表示

FinePrint6 では、プレビューダイアログに表示する機能をカスタマイズすることができます。

ショートカットメニュー（右クリック）



<ショートカットメニュー>

ツールバー上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- カスタム

下記の機能の表示/非表示を設定します。

- 印刷
- 印刷後閉じる
- PDF ファイル作成
- 保存
- 開く



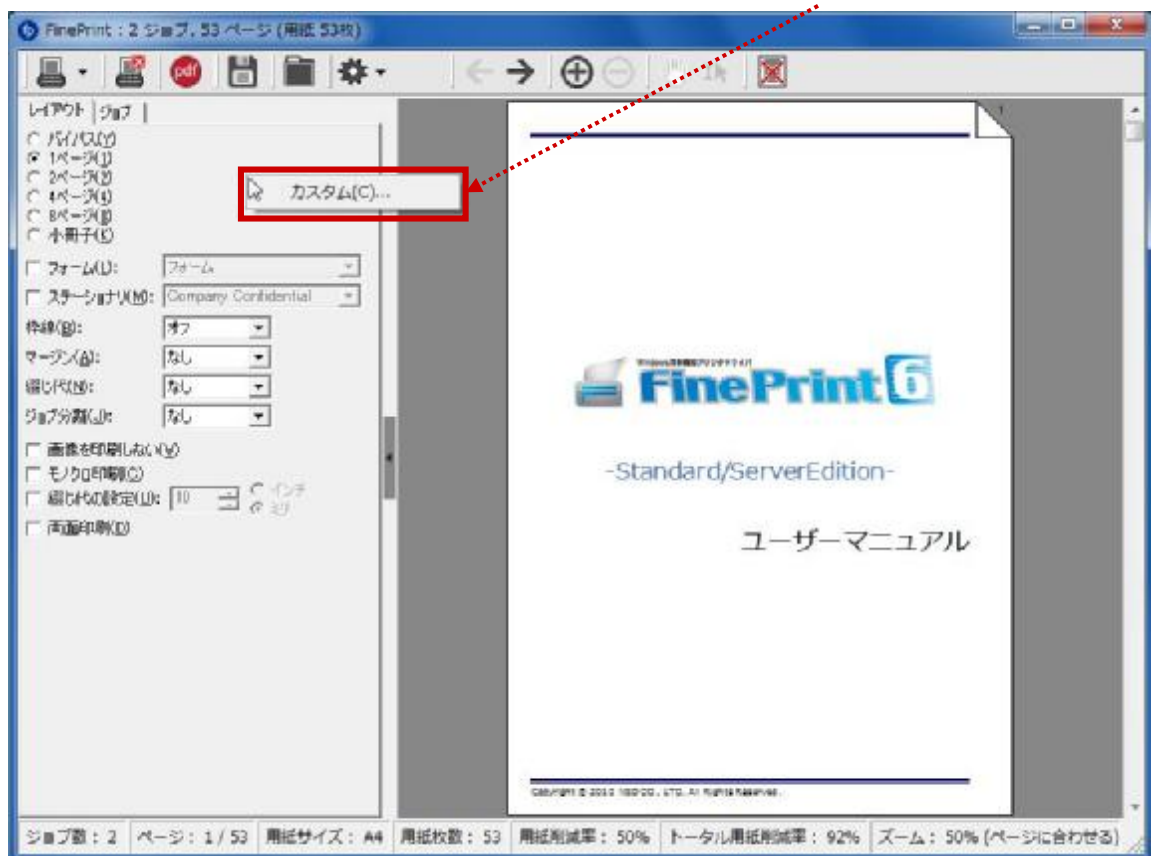
- ・ 設定
- ・ ページ
- ・ ズーム
- ・ カーソル
- ・ ページ削除



- ステータスバーを表示する

プレビュー画面下部のステータス（ページ／用紙サイズ／用紙枚数／用紙削減率／トータル用紙削減率／ズーム率）表示バーの表示／非表示を設定します。

ショートカットメニュー（右クリック）



<カスタム>

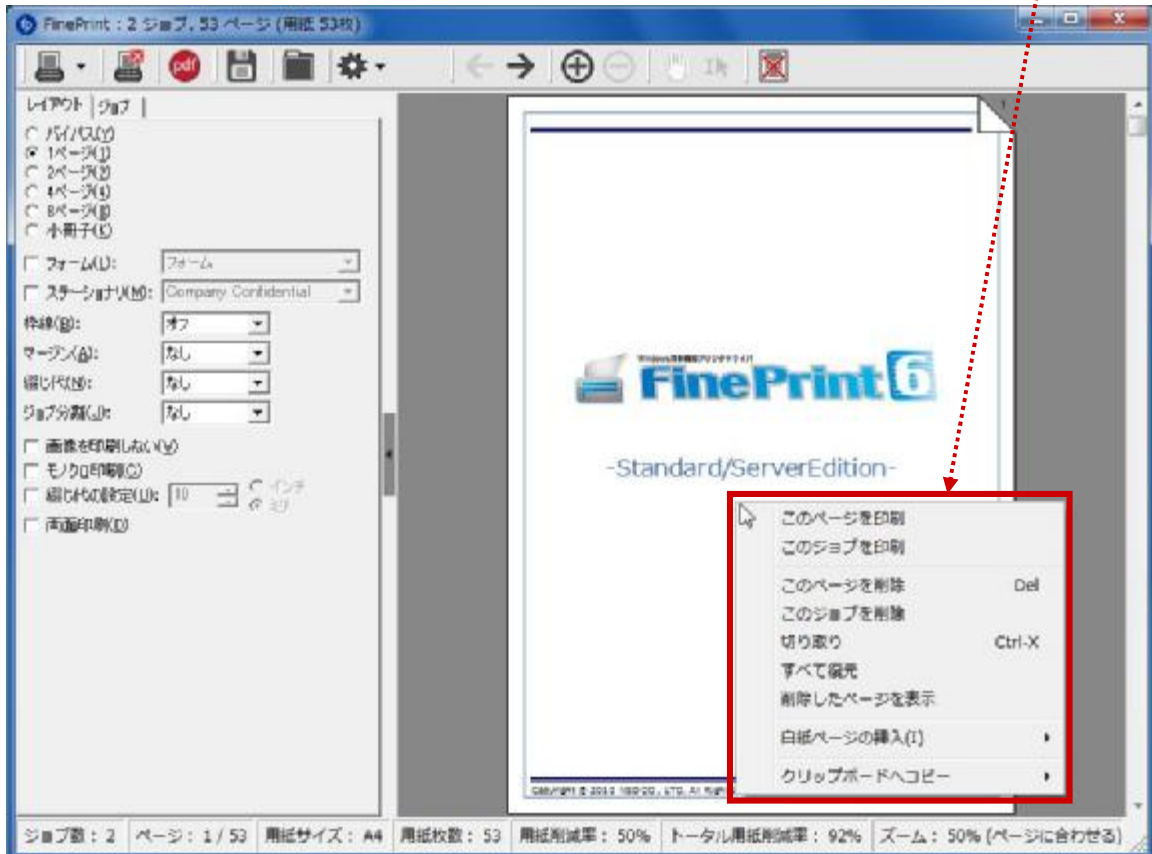
ダイアログ画面内の機能の表示/非表示を設定します。

第9章 プレビューダイアログ

FinePrint へ印刷をおこなうと、**FinePrint** の「プレビュー」ダイアログが表示されます。

ダイアログを表示しないように設定している場合は、ダイアログは表示されません。

ショートカットメニュー（右クリック）



主な機能:

ダイアログの上部のボタンでは以下の操作を行うことができます。

<出力先プリンタ>

印刷の出力先プリンタを選択します。

(詳細は「第7章 設定 印刷タブ」を参照してください。)

<印刷>

すべてのページを印刷します。

<  印刷後閉じる >

すべてのページを印刷し、ダイアログを自動で閉じます。

<  /  PDF 変換 >

pdfFactory / pdfFactory Pro を起動し、すべてのページを PDF ファイルへ変換します。

※別ソフト pdfFactory / pdfFactory Pro がインストールされている必要があります。

<  開く >

保存されている FinePrint (拡張子 : fp) ファイル (印刷ジョブ) を開きます。

<  保存 >

FinePrint から出力するファイルは、下記の形式で保存することができます。

- ・ FinePrint (拡張子 : fp)
- ・ ビットマップ (拡張子 : bmp)
- ・ メタファイル (拡張子 : emf)
- ・ GIF (拡張子 : gif)
- ・ JPEG (拡張子 : jpg)
- ・ PNG (拡張子 : png)
- ・ TIFF (拡張子 : tif)
- ・ テキスト (拡張子 : txt)

- FinePrint (拡張子 : fp)

FinePrint 形式でファイルを保存します。

この形式で保存することで、他の FinePrint ユーザーに送ることができ、受け取ったユーザーはファイルを開いて印刷することができます。

※ ドキュメントに使用されているフォントを他のユーザーが持っていない場合は、異なるフォントに置き換えられて印刷される場合があります。

<  設定 >

機能の表示、印刷、保存の設定をします。

(詳細は「第 7 章 設定」を参照してください。)

<  移動 >

ページ単位で表示を移動（前のページ／次のページ）します。

<  ズーム >

表示の拡大／縮小（ページに合わせる／幅に合わせる／**100%**／**150%**／**200%**／**400%**）をします。
プレビュー画面上でダブルクリックすることでもズーム（ページに合わせる／幅に合わせる）できます。

<  フリースクロール >

自由にプレビュー画面をスクロールすることができます。
拡大表示した場合にのみ有効になります。

<  文字選択 >

文字の部分を選択し、選択した範囲を操作することができます。
拡大表示した場合にのみ有効になります。
また、この機能を使用せずプレビューにて文字列を選択すると同じ機能を使用することができます。

- コピー

選択した部分の文字をクリップボードにコピーします。

- 削除


選択した部分の文字を削除します。

- ハイライト

選択した部分の文字に黄色のハイライトを付けます。

- 塗りつぶし

選択した部分の文字を黒く塗りつぶします。

<  ページ削除 >

選択したページを削除します。

ショートカットメニュー、または削除したいページを選択して「**Delete**」キーを押すことで削除することができます。

<ショートカットメニュー1>

プレビュー上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- このページを印刷

選択しているページのみを印刷します。

- このジョブを印刷

選択しているページが含まれるジョブを印刷します。

- ○○を元に戻す

一つ前に行った操作を行う前の状態に戻します。

切り取り／貼り付け／削除の操作を行った後に有効になります。

- このページを削除

選択しているページを削除します。

- このジョブを削除

選択しているページが含まれるジョブを削除します。

- このジョブを復元

選択しているページが含まれるジョブにて行った操作をすべて取り消し、**FinePrint** に出力した状態に戻します。

- 切り取り／貼り付け

選択しているページを切り取ります。／ 切り取ったページを貼り付けます。

- すべて復元

行った操作をすべて取り消し、**FinePrint** に出力した状態に戻します。

- 削除したページを表示

既に削除したページをプレビュー一覧に表示します。

削除されているページの上には赤い×が付きます。

- 白紙ページの挿入

白紙のページを挿入します。

サブメニューにて白紙を挿入する箇所（このページの前／このページの後）を選択することができます。

- クリップボードへコピー

選択しているページをテキスト／メタファイル／ビットマップとしてクリップボードにコピーします。

- ビットマップの設定

ビットマップでクリップボードにコピーする際の色数/解像度の設定をします。

<ショートカットメニュー2>

ドキュメント内に使用されている画像を右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- コピー

選択している画像をコピーし、ペイント等に貼り付けることができます。

- 保存

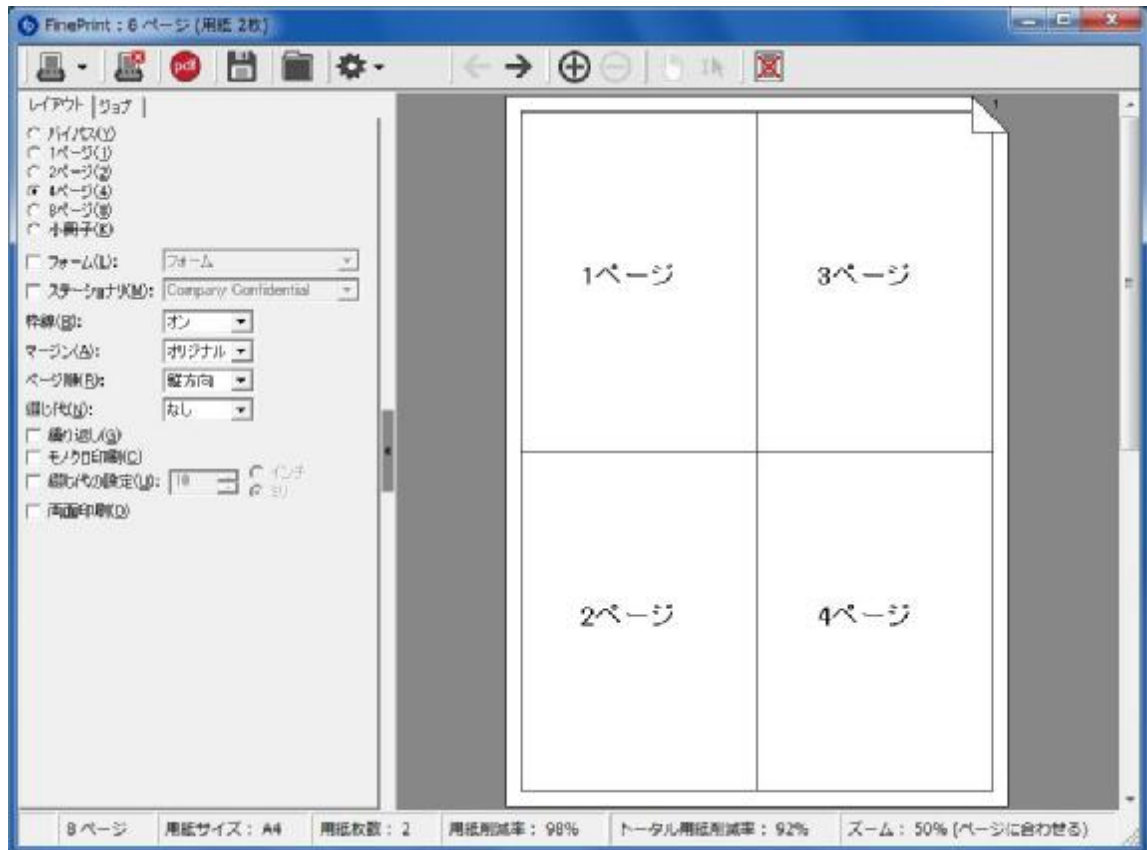
選択している画像をビットマップ形式（拡張子：**bmp**）で保存します。

- 削除

選択している画像を削除します。

第 10 章 レイアウトミニタブ

レイアウトミニタブでは、分割、両面印刷、白紙の挿入等、印刷する際のレイアウトを設定することができます。



<レイアウト>

1 ページに何ページを割り付けて印刷するかを指定します。

- バイパス

分割、両面、モノクロ印刷等、何も設定せずにそのままの状態ですべて印刷します。

- 小冊子

二つ折りの冊子を製本するために、2 分割・両面で印刷をします。

印刷後は、用紙をすべて二つ折りにして真ん中を綴じてください。

<フォーム>

フォームミニタブにて作成したフォームから使用するフォームを選択します。

(詳細は「第 12 章 フォームミニタブ」を参照してください。)

<ステーショナリ>

ステーショナリミニタブにて作成したステーショナリから使用するステーショナリを選択します。

(詳細は「第 13 章 ステーショナリミニタブ」を参照してください。)

<枠線>

枠線の有無を指定します。

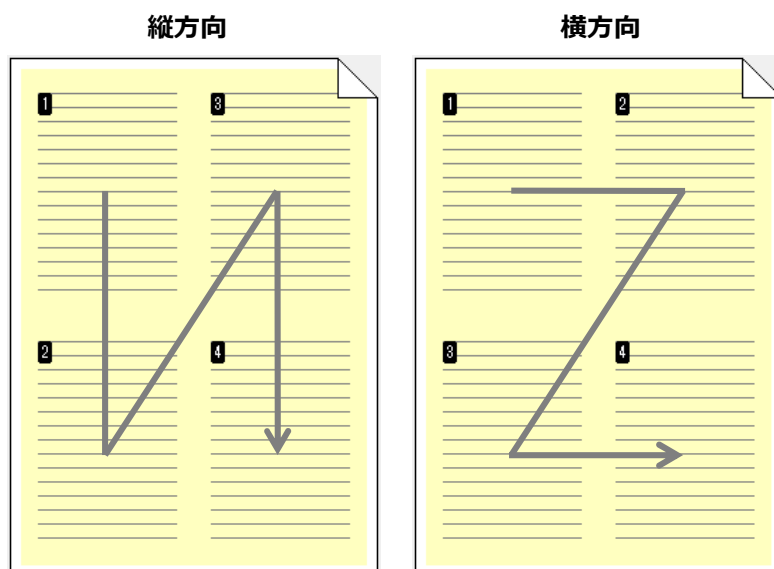
スマートは、レイアウト：4,8 分割の縮小印刷の際に機能します。

<マージン>

用紙の端からの余白部分（印刷不可能領域）のサイズ（なし／小／中／大／オリジナル）を指定します。

<ページ順>

レイアウト：4,8 分割の縮小印刷の際に有効になります。



<綴じ代>

綴じ代の位置（なし／左／上／右／下／短辺／長辺）を指定します。

<繰り返し>

一枚の用紙へドキュメントの同一ページを繰り返してレイアウト（配置）します。

<モノクロ印刷>

ドキュメントをすべてモノクロにすることにより、インクやトナーを節約することができます。

<綴じ代の設定>

綴じ代の幅をインチ／ミリ単位で指定します。

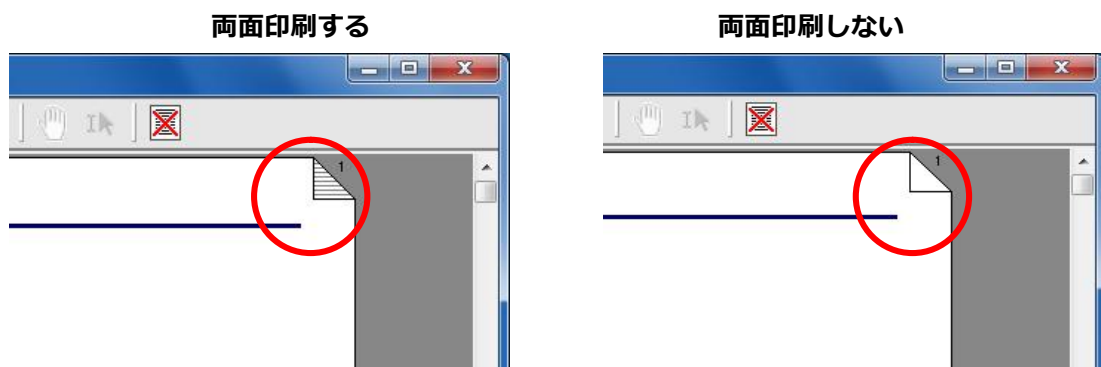
<両面印刷>

両面印刷をします。

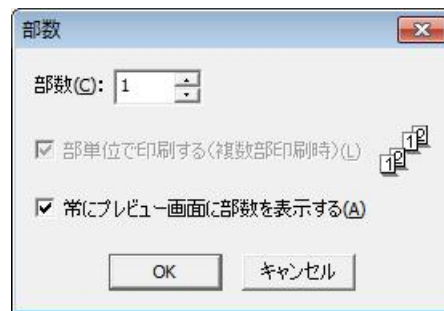
両面印刷に関する詳細設定は、[プリンタオプション] より行います。

（詳細は、「第 6 章 プレビュータブ」を参照してください。）

プレビュー右上の折り目の折れている部分をクリックすることで両面印刷する／しないを設定することができます。



プレビュー右上の折り目の数字部分をクリックすると、両面印刷、部数の設定ができます。



- 部数

印刷する部数を設定します。

- 部単位で印刷する（複数部印刷時）

部単位で印刷をします。

この項目のチェックを外すと、ページ毎に指定した部数分印刷されます。

- 常にプレビュー画面に部数を表示する

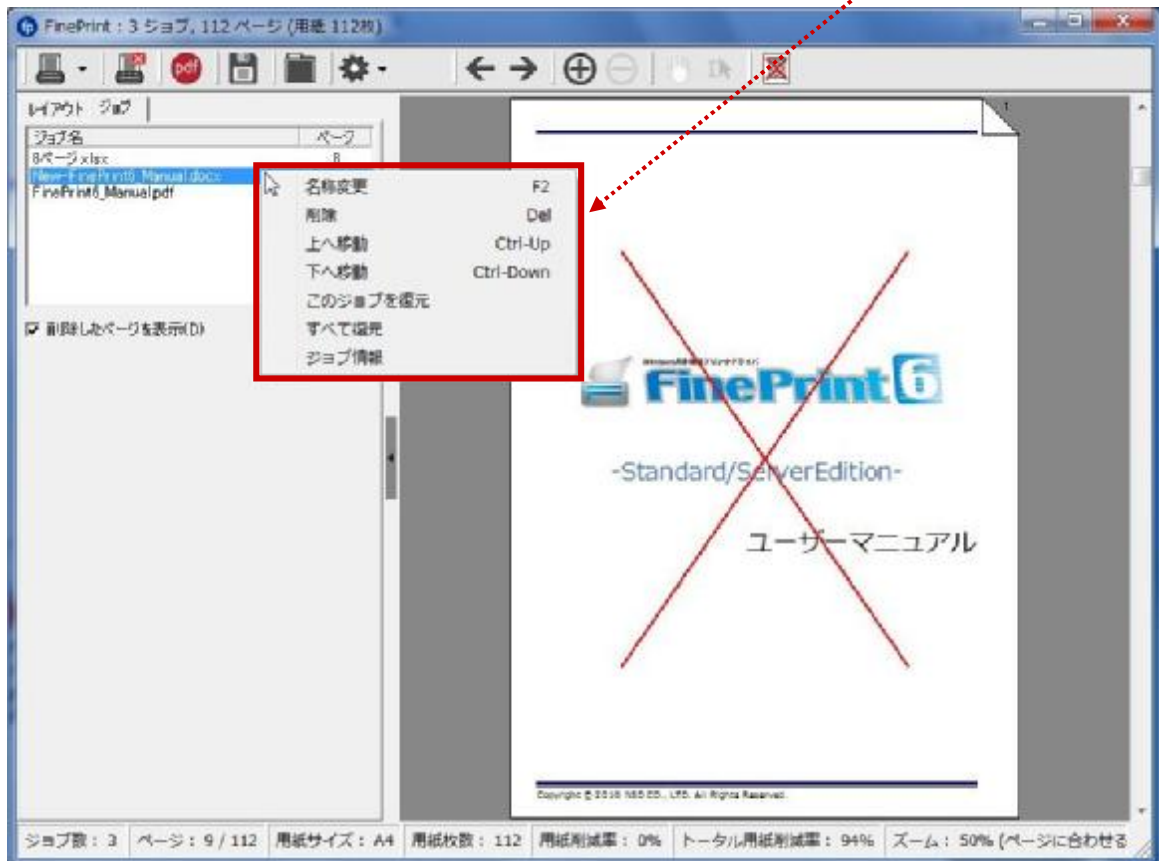
プレビュー右上の折り目の部分に部数を表示するようにします。

この項目のチェックを外すと、部数表示が消えますが、マウスカーソルをあてると部数が表示されます。

第 11 章 ジョブミニタブ

ジョブミニタブではジョブ名称の変更、ジョブの再配列、ジョブの削除を行うことができます。
ジョブリスト欄には、**FinePrint** に出力した各ジョブ名とページ数が表示されます。

ショートカットメニュー（右クリック）



<削除したページを表示>

既に削除したページをプレビュー一覧に表示します。
削除されているページの上には赤い×が付きます。

<ショートカットメニュー>

各ジョブ名上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- 名称変更

ジョブ名を変更します。

- 削除

ジョブを削除します。

ショートカットメニュー、または削除したいジョブを選択して「Delete」キーを押すことで削除することもできます。

- 上に移動

選択したジョブを一つ前のジョブの前に配置します。

- 下に移動

選択したジョブを一つ後ろのジョブの後ろに配置します。

移動させたいジョブ名を選択してドラッグ&ドロップすることにより、任意の場所に移動させることができます。

- このジョブを復元

既に削除したジョブを元に戻します（削除取り消し）。

「[削除したページを表示]」が有効になっている場合にのみ選択できます。

- すべて復元

削除したページ、ジョブおよび切り取ったページのすべてを元に戻します。

- ジョブ情報

選択したジョブに関する情報を表示します。

第 12 章 フォーム機能

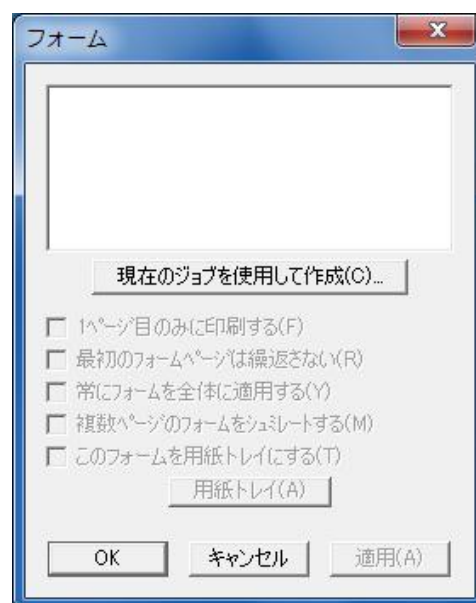
フォーム機能では、ドキュメントに付加するフォームを作成することができます。

フォームを作成すると、どのアプリケーションからの印刷に対してもフォームを重ねて印刷することができます。



フォームを作成するためには、先ずフォームに登録するドキュメントを作成します。

⚙️ (設定)よりフォームを選び「現在のジョブを使用して作成」ボタンをクリックし登録をします。



<現在のジョブを使用して作成>

現在、**FinePrint** に出力されているドキュメントをフォームとして登録します。

- 1 ページ目にのみ印刷する

ドキュメントの 1 ページ目にのみフォームを付加します。

- 最初のフォームページは繰り返さない

複数ページを印刷する場合、フォームの 1 ページ目は繰り返さず 2 ページ目以降のみ繰り返し付加します。

例：フォームが 5 ページ、ドキュメントが 10 ページの場合

5 ページ目まではフォームが順に重なり、6 ページ目以降はフォームの 5 ページ目が重ねて印刷されます。

- 常にフォームを全体に適用する

毎回フォームをドキュメント全体に付加します。

例：フォームが 5 ページ、ドキュメントが 2 ページの場合

2 ページ目まではフォームが重なり、3 ページ目以降はフォームのみ印刷されます。

- 複数ページのフォームをシミュレートする

フォームをページ全体に付加します。

例：フォームが 5 ページ、ドキュメントが 10 ページの場合

5 ページ目まではフォームが順に重なり、6 ページ目以降はフォームの 5 ページ目が重ねて印刷されます。

- このフォームを用紙トレイにする

フォームを用紙トレイに追加します。

- 用紙トレイ

用紙トレイに登録してあるフォームの一覧が表示されます。

第 13 章 ステーションナリ機能

ステーションナリ画面からドキュメントに付加するスタンプを作成することができます。

スタンプとは、アプリケーションから出力する内容以外にヘッダ、フッターおよび背景文字（透かし文字）を追加する機能です。スタンプを使用するためには、先ずスタンプの作成を行います。

スタンプを作成するためには「新規作成」ボタンをクリックし、各項目の設定を行います。



- スタンプ付加

スタンプを付加するページを設定します。

- 開始ページ

スタンプの適用する最初のページを指定します。

[各ページ]を指定した場合のみ有効となります。

- 先頭ページ番号

ページ番号を付加するための設定をおこないます。

- ページ番号桁数

ページ番号の前に“0”を付加します。

例：

3 と指定した場合、1 ページ目は“001”と 3 桁表示になります。

- ヘッダ

ヘッダ部分にスタンプを挿入します。

- 背景文字

表示させる背景文字を挿入します。

- フッター

フッター部分にスタンプを挿入します。

- フォント

挿入するテキストのフォントを設定します。

- マクロ変数挿入

スタンプにマクロ変数（文字列）を設定することで、該当する値（項目）をドキュメントに付加することができます。以下の項目を設定することができます。

| マクロ変数 | 説明 |
|----------------------|---|
| 日付 | 実行日付（例：2011/01/01） |
| 時刻 | 実行時刻（例：00：00：00） |
| ページ番号 | ページ番号 |
| 全ページ数 | 全体のページ数 |
| ページ/全ページ数 | ページ番号/全体のページ数 |
| ユーザー名 | FinePrint を使用しているユーザー名 |
| ジョブ名 | 印刷ジョブ名 |
| コンピュータ名 | FinePrint を使用しているコンピュータ名 |
| プリンタ名 | 出力先プリンタに指定しているプリンタ名 |
| OS 名 | FinePrint を使用している OS 名 |
| 左揃え 中央揃え 右揃え | スタンプの配置を設定します。 このマクロに続く文字列が「左揃え／中央揃え／右揃え」で出力されます。 例：左揃えで日付、右揃えで時刻を付加したい場合 <左側><日付><右側><時刻> |
| 小冊子 - 内側 小冊子 - 外側 | 小冊子を作成した際に内側／外側になる部分にスタンプを配置します。 |

| | |
|----|--|
| 改行 | <p>テキストを改行する。</p> <p><改行>を使うことにより、ヘッダ、背景文字、フッターを複数行にすることができます。</p> |
|----|--|

- フォント

挿入するテキストのフォントを設定します。

- 濃さ

背景文字の濃さ（0%～100%）を設定します。

- 角度

背景文字の角度を設定します。

第 14 章 サーバーエディション

サーバーエディションは、ネットワーク環境にて導入いただく場合の管理コスト軽減を目的とする管理機能を追加した製品です。**FinePrint** の機能はそのままに、インストールおよびバージョンアップ作業の工数を大幅に軽減します。通常の印刷操作については通常版との違いはありません。

<クライアントサポート>

クライアント OS として **Windows XP/Vista/7** をサポートします。

<インストール>

サーバーエディションをサーバーにインストールします。

サーバーにインストールすることにより、各クライアント **PC** はサーバーから簡単に **FinePrint** をインストールすることができます。

- サーバーへのインストール

インストーラ (**exe** ファイル) を実行し、表示される指示に従いインストールを行います。

- クライアントへのインストール

プリンタフォルダーにある「プリンタの追加」ウィザードを使用し、サーバーの **FinePrint** に接続します。または、サーバーの共有プリンタを選択してインストールします。

注意事項：

クライアントに既に通常版 **FinePrint** がインストールされている場合は、アンインストールしてからインストールを行ってください。

(アンインストール方法については、「第 1 章 (はじめに)」の「アンインストール」を参照してください。)

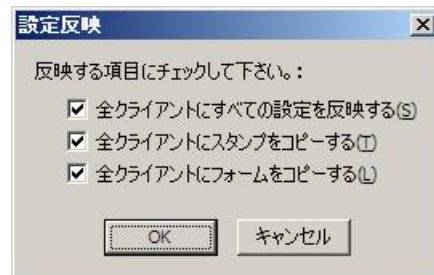
<自動アップデート>

サーバーに新しいバージョンの **FinePrint** をインストールしたい場合、管理者はサーバーをアップデートするだけで済みます。

クライアントはクライアント OS 再起動時に新しいバージョンがインストールされたことを通知され、簡単に新しいバージョンへアップデートできます。

<設定反映>

サーバーエディションのダイアログを閉じる際に、クライアントに設定を反映することができます。クライアントに設定を反映したくない場合は、チェックをせずに [OK] をクリックします。



- 全クライアントにすべての設定を反映する

サーバー上の **FinePrint** を使用している全クライアントに設定値を反映させます。

- 全クライアントにスタンプをコピーする

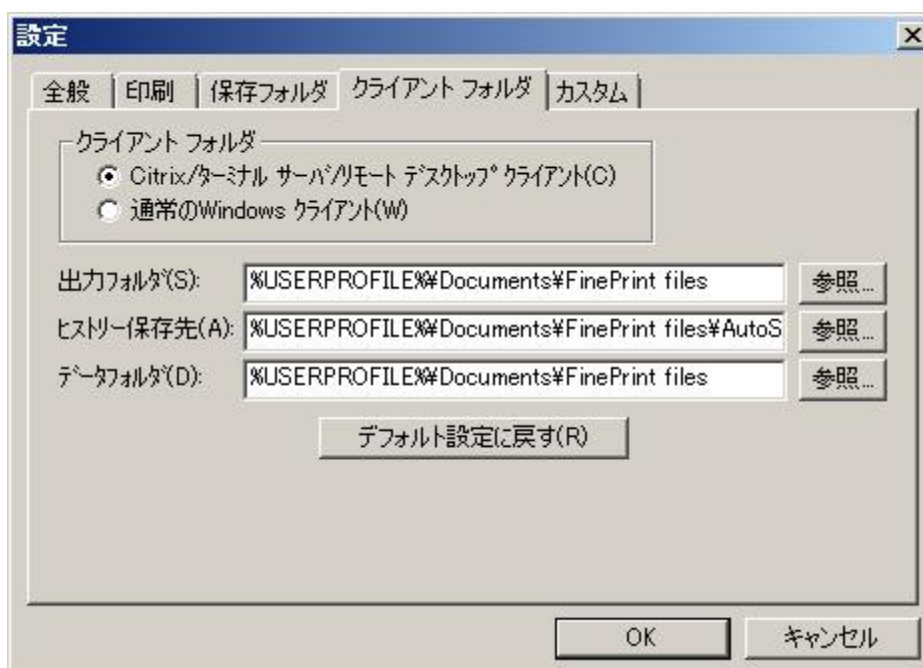
サーバー上で作成したスタンプ（ステーションナリ）を全クライアントで使用できるようにします。

- 全クライアントにフォームをコピーする

サーバー上で作成したフォームを全クライアントで使用できるようにします。

<クライアント 保存先フォルダ設定>

クライアントが **FinePrint** を使用する際に使用するフォルダを設定することができます。



- クライアント フォルダ

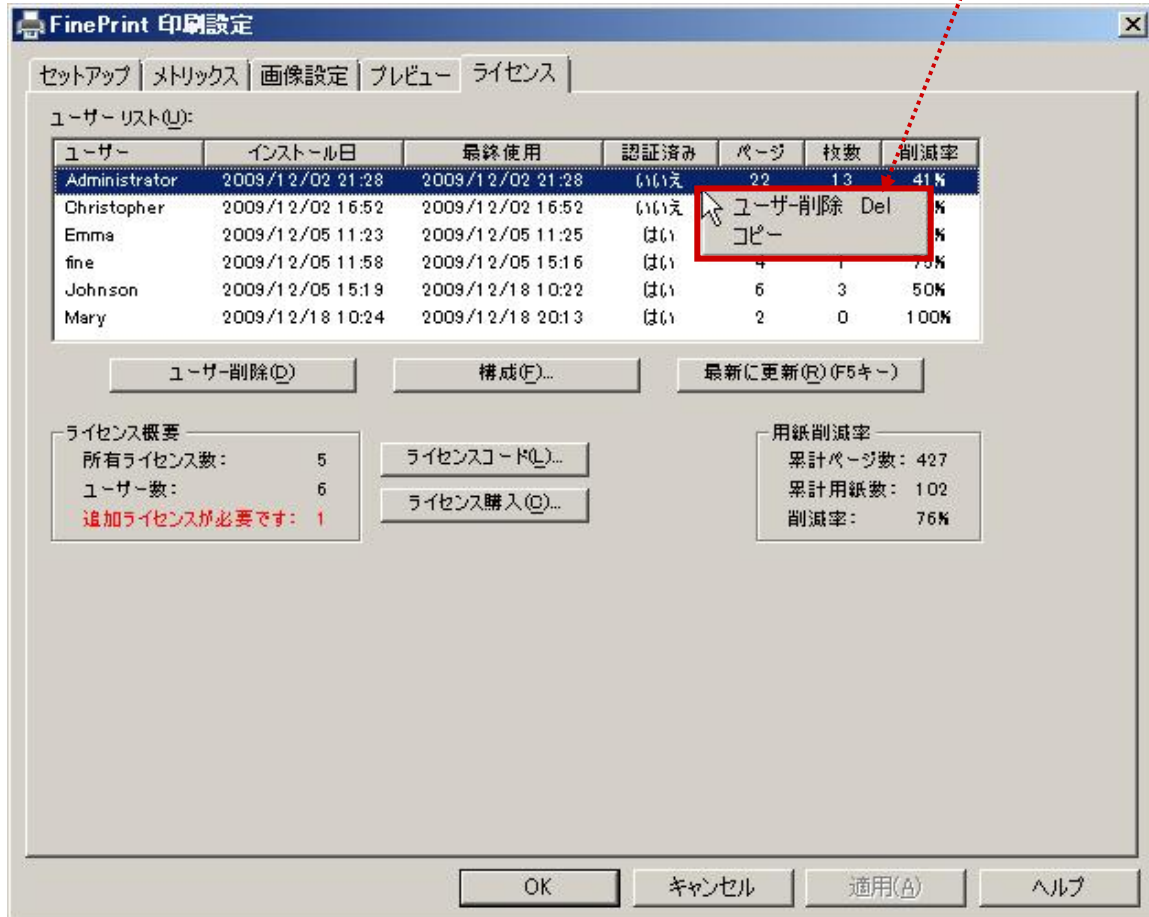
FinePrint SE の利用環境によって下記のどちらかを選択してください。

- **Citrix**/ターミナルサーバー/リモートデスクトップ クライアント
- 通常の **Windows** クライアント

第 15 章 ライセンスタブ (SE のみ)

プリンタサーバ上の **FinePrint** を使用した場合、自動的にユーザーリストへユーザが追加されライセンス管理を行うことができます。

ショートカットメニュー (右クリック)



<ショートカットメニュー>

各ユーザ名上で右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

- ユーザー削除

選択したユーザーを削除します。

- コピー

ユーザーリストに表示された全ての情報をクリップボードにコピーできます。

<ユーザーリスト>

FinePrint を使用しているクライアントの一覧が表示されます。

- ユーザー

FinePrint を使用しているユーザー名が表示されます。

- インストール日

サーバー上の **FinePrint SE** をクライアント **PC** に追加した日時が表示されます。

- 最終使用

クライアントが **FinePrint** を最後に使用した日時が表示されます。

- 認証済み

各クライアントが使用している **FinePrint** にライセンスコードが割り当てられているかの確認をすることができます。

-- はい

ライセンスが割り当てられています。クライアントが使用している **FinePrint** は「製品版」です。

-- いいえ

ライセンスが割り当てられていません。クライアントが使用している **FinePrint** は「試用版」です。

注意事項：

20 ライセンス分のライセンスコードを登録している場合、**23** ユーザーが **FinePrint** を使用すると **3** ユーザーの **FinePrint** は「試用版」のままとなります。

- ページ

各クライアントが **FinePrint** に出力したページ数が表示されます。

- 枚数

各クライアントが **FinePrint** からプリンタに印刷を行い、実際に使用された用紙の枚数が表示されます。

- 削減率

各クライアントの削減率が表示されます。

<ユーザー削除>

ユーザー一覧にて選択したクライアントを削除します。

削除したいユーザー名を選択して右クリック [ユーザー削除] または、「Delete」キーを押すことで削除することができます。

<構成>

複数の **FinePrint SE** を構成するときに使用します。



- 単独でライセンスを管理する

サーバー1台でライセンスを管理します。

- 他サーバーとライセンスを共有する

ネットワーク内に複数の **FinePrint SE** を構成されていて、複数サーバーでライセンスを共有したい場合に使用します。

-- サーバー名

複数サーバーで構成する場合、指定したサーバー名すべてが表示されます。

-- サーバー名を指定する

複数サーバーで構成する場合、直接サーバー名もしくは **IP** アドレスを指定します。

-- ネットワークから検出する

ネットワーク全体から **FinePrint SE** サーバーを検出します。

注意事項：

大規模ネットワークにてご利用の場合、この機能を使用すると大変時間が掛りますのでご注意ください。

<最新に更新>

ユーザーリスト一覧を更新します。

<ライセンス概要>

ライセンスの使用状況の確認ができます。

- 所有ライセンス数

登録したライセンスコードのライセンス数が表示されます。

- ユーザー数

FinePrint を追加したクライアント数が表示されます。

注意事項：

所有ライセンス数を超え **FinePrint** を使用している場合、クライアントに割り当てられていないライセンス数が表示されます。

- 追加ライセンスが必要です

登録したライセンスコードのライセンス数よりも **FinePrint** を使用しているクライアントの数が多いとき、追加する必要があるライセンス数が表示されます。

<ライセンスコード>

ライセンスコードの登録をします。

(ライセンスコード登録については、「第 16 章 ライセンスコード登録 (SE のみ)」を参照してください。)

<ライセンス購入>

FinePrint ご購入案内のための弊社ホームページが表示されます。

<用紙削減率>

FinePrint SE を使用しているクライアントの印刷枚数等を集計し、全体の削減率が表示されます。

第 16 章 ライセンスコード登録 (SE のみ)

ライセンスタブの [ライセンスコード] ボタンから、ライセンスコードの新規登録および追加することができます。

<新規登録>

1. [ライセンスコード] ボタンをクリックすると以下の画面が表示されるので、ライセンスコードを入力し [OK] をクリックします。



2. ライセンスコード一覧が表示されますので、ライセンス数等を確認し [OK] をクリックします。



<追加登録>

複数のライセンスコードを登録することにより、総数がライセンス数で管理が可能です。

1. [ライセンスコード] ボタンをクリックします。
2. [追加] をクリックします。
3. 追加するライセンスコードを入力し [OK] をクリックします。

第 17 章 その他の情報

- I **FinePrint** 日本語対応版の最新版、PDF 変換ソフト **pdfFactory** 等、他製品や各種情報は弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.nsd.co.jp/share/fineprint/index.html>

- I 製品についてのお問い合わせは、下記のメールアドレスへお願いいたします。

fineprint@nsd.co.jp

- I メタフレーム環境での使用をご検討中の方は以下の点ご注意ください。

※ メタフレーム環境にてご使用の場合は、必ず **FinePrint SE** を使用してください。

<Windows ターミナルサーバー及びメタフレーム環境でのサポートについて>

メーカー（米国 **FinePrint** 社）では、**FinePrint/pdfFactory ServerEdition** 製品の **Windows** ターミナルサーバー及びメタフレーム環境での動作をサポートしています。

また、導入の際には特別なセットアップの必要なくご使用いただけます。

但し、処理方法及び動作環境の違いにより何らかの現象が発生する場合がございます。

現象が発生した場合には、メーカーへ現象の報告を行いトラブル解消に向け努力しますが、改善をお約束するものではありませんので、ご購入いただく前に導入環境にて十分な動作確認を行ってくださる様お願い致します

<動作保証について>

弊社（株式会社 **NSD**）では、**FinePrint** 及び **pdfFactory** の動作をすべての環境で確認できていないため、動作の保証はしておりませんのでご了承くださる様お願い致します。

ご購入いただく前に実際に使用する環境にて十分に動作確認を行ってからご購入ください。